

⑭投光器取扱説明書

【外観および配置】



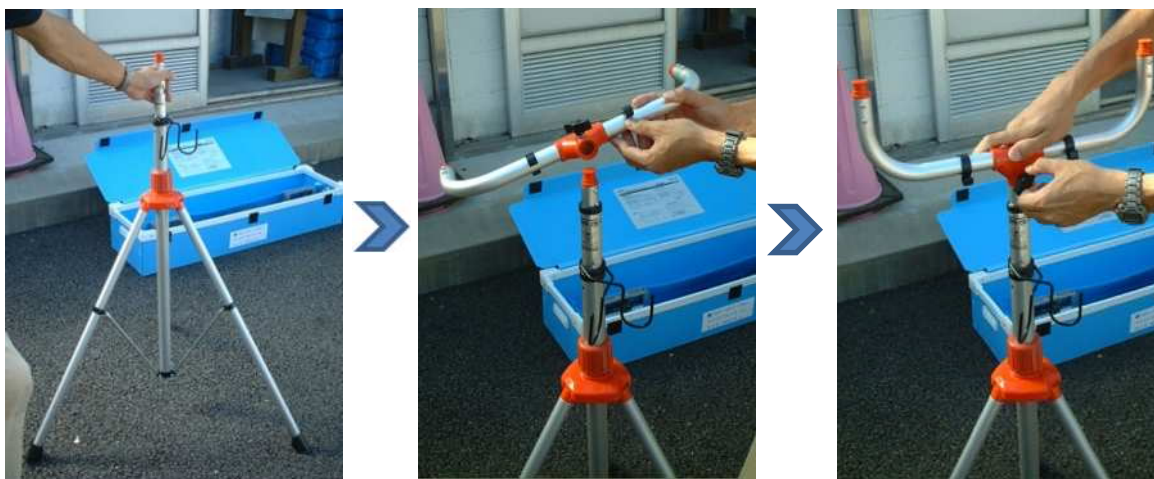
- ② スタンド（上部） ① スタンド（下部） ④ 延長コード



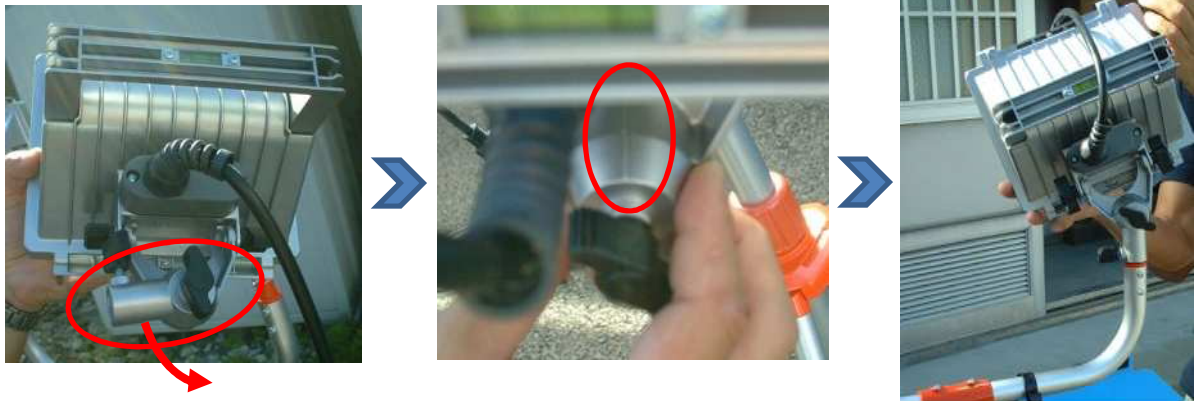
- ⑤ ハロゲン交換球 ③ ハロゲンライト

【組み立て方】

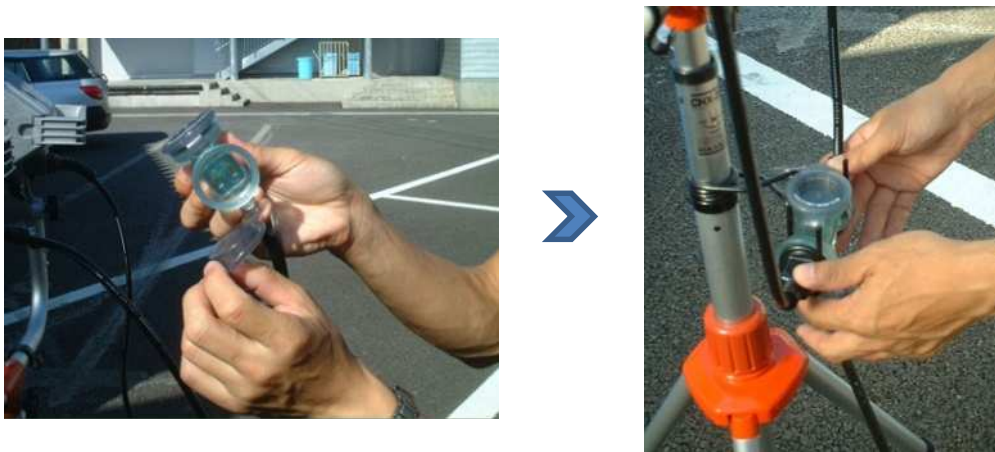
- (1) 畳んである①スタンド（下部）を広げ、立てる。
- (2) ②スタンド（上部）をスタンド（下部）に取り付ける。



- (3) ③ハロゲンライトの裏側にある接続部を回し、下ののように合わせ、スタンド（上部）に接続する（2か所）。



- (4) ハロゲンライトのコンセントを④延長コードに接続し（2か所）、スタンド（下部）のフックに引っ掛ける。



- (5) 完成



⑭投光器取扱説明書(LED)

【外観および配置】



① LEDライト (上部) ② スタンド (下部)



③ 高さ固定用グリップボトル ④ 落下防止ピン

【組み立て方】

- (1) 畳んである②スタンド（下部）を広げ、立てる。
- (2) ①LEDライト（上部）を②スタンド（下部）に取り付ける。
- (3) ③高さ固定用グリップボトルで高さを調節し再び締めます。
- (4) ④落下防止ピンを差込みます。



③固定用
グリップボトル

③高さ固定用グリップ
ボトル（拡大）



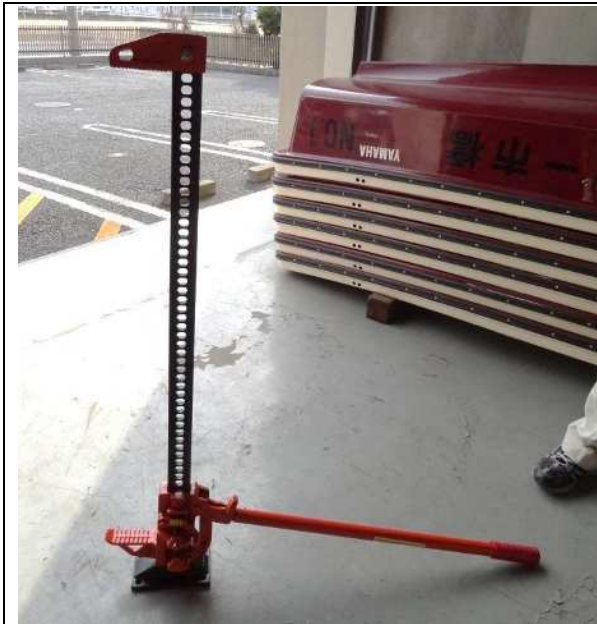
④落下防止ピン
を差込



【注意事項】

- ・使用後LEDライトが熱くなっている場合がありますので、収納の際は注意して下さい。

⑱ハイジャッキ（最大使用荷重は 1000 kg）



段ボール箱に収納してあります。



レバーの操作については、手を挟むなどケガに気を付けて下さい。

ハイジャッキ (HI-JAC) 取扱説明書

ストックNo.E-338

製品No.HJC10



この度は、お買い上げ頂きまして誠に有難うございます。

取扱説明書をよくお読みになり、有効かつ安全にご使用下さいますようお願い致します。



警告

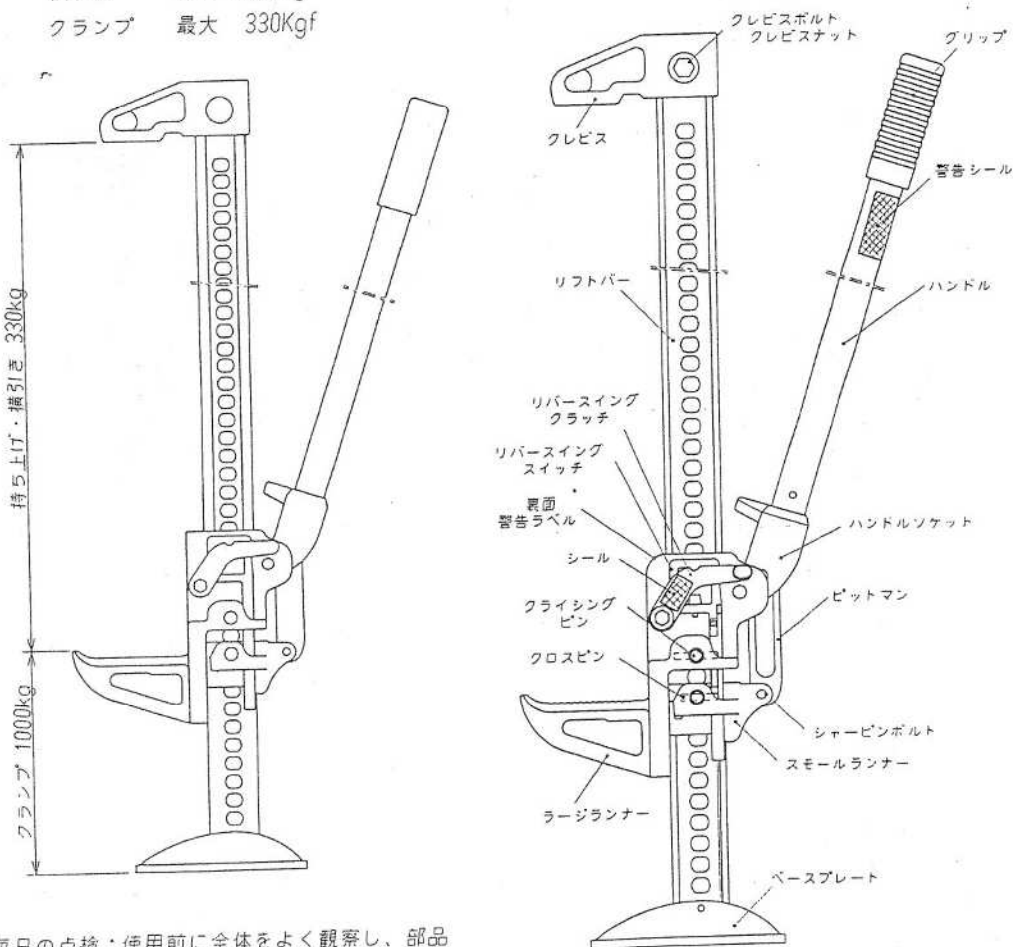
不適切な使用は、取り返しのつかない重大な事故を引き起こし、大怪我を負う可能性があります。

用途：重量物の持ち上げ、横引き、クランプ

能力：持ち上げ 最大 1000Kg

横引き 最大 1000Kg

クランプ 最大 330Kgf



毎日の点検：使用前に全体をよく観察し、部品の破損・磨耗・不足がないかをよく確かめて下さい。



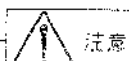
注意

最大使用荷重は1000Kgです。1200Kg以上の荷重を加えるとシャーピンボルトが過負荷防止のため、折れます。その時はハイジャッキ用シャーピンボルトとして、当社よりご購入下さい。高張力ボルトを使用すると過負荷により、故障・事故の原因となりますので使用しないで下さい。又、ハンドルにパイプ等をつないで使用しないで下さい。

〈ご使用方法〉

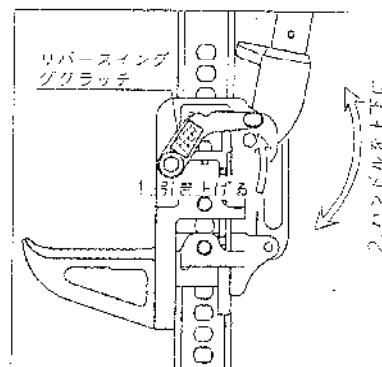
製品を上げる場合

- (1) 操作時以外は、ハンドルを垂直に上げて（リフトバーと平行）にしておいて下さい。
- (2) ベースプレートは、フラットで安定した箇所に据えて下さい。
- (3) ワークをラージランナーで確実に載せるか又は、ワイヤーで確実に固定して下さい。
- (4) リバースイングクラッチをロックするまで引き上げ下さい。
- (5) ハンドルを両手で握り、バネの音が「カチッ」と鳴るまで引き降ろして下さい。

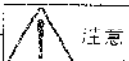


注意

ハンドル操作はゆっくり行って下さい。急激な操作は、シャーピンボルトに衝撃荷重が加わり、規定より低い荷重で破損します。



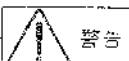
- (6) 次に、ばねの音が「カチッ」と鳴るまでハンドルを上げて下さい。
- (7) (5)、(6)を繰り返して、必要を所まで上げ、ハンドルはリフトバーと平行な状態にしておいて下さい。
- (8) フークの下に台もしくは、支えを置いて下さい。
- (9) フークを台もしくは、支えまで降ろして下さい。



注意

降ろす作業の前に、下記の品物を下げる場合の手順を請んで下さい。

品物を上げた状態



警告

このジャッキは、品物を支える物ではありません。ジャッキで上げたワークが落下しないよう、台や支えを下にかけさせて下さい。上げた品物が落下した場合は、大怪我を負う可能性があります。

- (1) ジャッキで支えたままの品物の下へ入らないで下さい。
- (2) 品物を横折して、ジャッキから外さないで下さい。

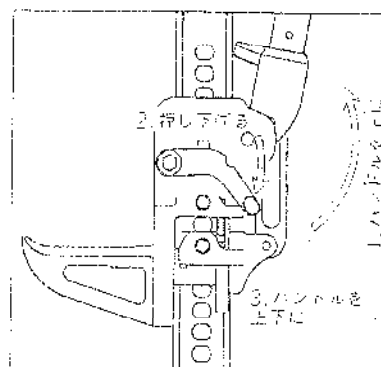
品物を下げる場合



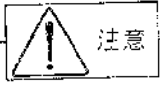
警告

品物を下げる時に使用方法を誤りますと、危険な状態が発生しやすくなります。

- (1) ハンドルを垂直に上げて（リフトバーと平行）にして下さい。
- (2) ハンドルグリップを握り、左足でリバースイングクラッチを押し下げして下さい。
- (3) 両手でハンドルを確実に握り、ゆっくりと1センチずつ品物を下降させして下さい。
- (4) ハンドルを下げ、水平になり、ばねの音が「カチッ」と鳴るとハンドルから手に大きな荷重（品物の約1/30の荷重）が掛かります。その時、荷重に耐えられるような姿勢をとり、両手を離さないで下さい。



- (5) 下降が最低高に完了するまでハンドルグリップから絶対に手を離さないで下さい。
- (6) 下降を途中で止める時、リバースイングクラッチを引き上げハンドルグリップから手を離して下さい。

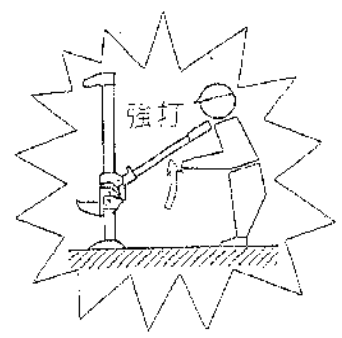


注意

降下時、ハンドルをリフトバーと平行にしておいて下さい。 そうでないと、降下と同時にハンドルが強い力で跳ね上がり、大怪我をする可能性があります。 又、ハンドルの動作範囲に頭・体を入れると大怪我をする可能性があります。 品物をリフトバーの穴一段ずつ降下させるには、最低50Kgの荷重が必要です。

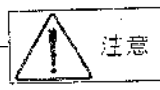
50Kg以下の荷重でリバースイングクラッチを下げると、本体が急落下します。

複数のジャッキで1つの品物を持ち上げている時は、荷重が低くなる可能性があるため、注意が必要です。



品物を横引きする場合

基本操作・注意点は品物の上下操作と同様です。



注意

品物のクランプは、ラージランナーとクレビスで行って下さい。 品物がラージランナー・クレビスから外れないよう注意して下さい。

最大クランプ力は、ハンドルに加える力の約30倍となりますので、それを超えないよう注意して下さい。

基本操作は、品物の上下操作と同様です。

《注記》

以上を読み終え、不明な点があれば当社までお問い合わせ下さい。

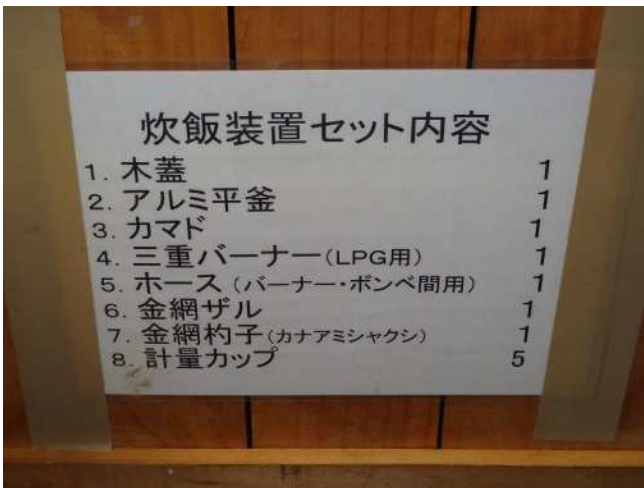
操作方法の確認の為、100-200Kg程度の品物で一連の操作を行って下さい。

取扱説明書は常に製品と同じ場所に保管し、紛失した時は、当社より取り寄せて下さい。

⑱炊飯装置



木箱に入れて保管してあります。



炊飯時に必要なザル、杓子(しゃもじ)、計量カップも、あわせて保管してあります。



⑳ 救急医療セット



救急医療セット（セット内容）

1	殺菌消毒薬
2	皮膚疾患治療薬
3	外用湿布・皮膚炎用薬
4	ガーゼ
5	医療用救急ばんそうこう（大・小）
6	救急ばんそうこう（フリーサイズ）
7	救急ばんそうこう（ガーゼ付）
8	清浄綿
9	消炎鎮痛シップ剤【打撲・骨折痛等】
10	医療用粘着紙テープ（幅9mm）
11	三角巾
12	包帯（伸縮）
13	ハサミ
14	ピンセット【とげ抜き兼用】
15	安全ピン
16	メモ帳・ボールペン
17	冊子【緊急お手当法】

②1 LP ガス装置（ボンベ庫）



LP ガスの 50 kgボンベは、室外の専用倉庫内で保管しています。



訓練時に使用すると補充が出来ないため、地域で炊き出し訓練などを行う際には5 kgボンベを都市防災部で貸し出ししています。

②折畳式 リヤカー



災害時の人命救助、物資・食料等の
運搬に活用

使用時寸法：

W870×L1860×H630

自重：21 kg

最大積載重量：130 kg

(アルミ製で軽量)

折畳時寸法：

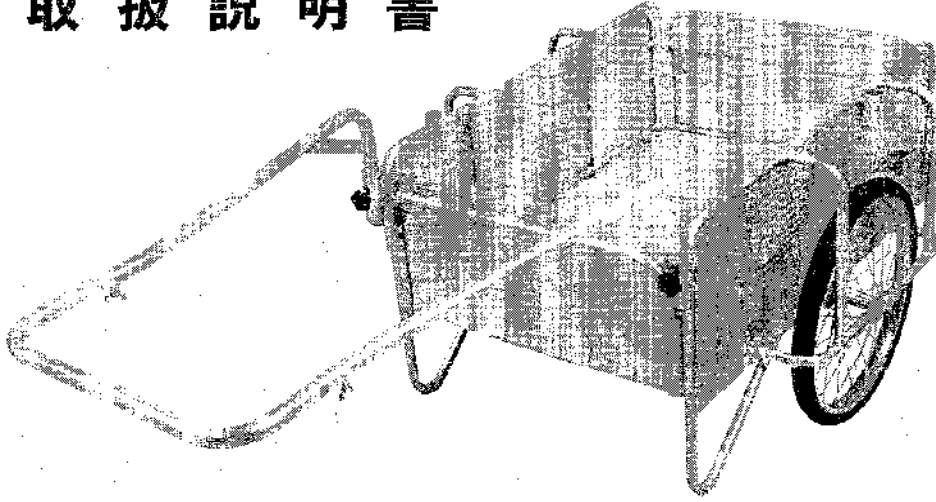
W370×L1020×H750



Píca[★] アルミ合金製折りたたみ式リヤカー

PHC-130

取扱説明書



【安全上の注意】

アルミ製リヤカーをご使用される場合、作業時において下記の警告・注意事項を無視して誤った取扱いをすると、死亡又は傷害を負う等の人身事故につながる恐れがあります。あなたや他の人への危害や、財産への損害を未然に防止するために、安全上のご注意をご理解の上、守って頂くようお願いいたします。

また、本取扱説明書は、必要な場合にはいつでも参照できるように、大切に保管してください。



【警告事項】

アルミ製リヤカーを使用した荷役・運搬を行う上で取扱いを誤った場合、アルミ製リヤカーの損傷や使用者が死亡または重傷を招く恐れがありますので、次の項目を守ってご使用ください。

1. 本来の用途以外の使用禁止

アルミ製リヤカーは、荷役・運搬用物流器材として設計されています。それ以外の用途では絶対にご使用にならないでください。特に人を乗せて運搬しないでください。

2. 最大積載質量を守る

最大積載質量は130kgです。余分なスペースがあっても積載しないでください。

3. 改造の禁止

後加工による仕様変更はおやめください。

4. 積積品の使用禁止

アルミ製リヤカーは、通常の使用に充分耐えうるように設計されていますが、取扱い上の不備により、歪み・破損・著しい変形等をしたものは強度低下していることがありますので、危険ですからご使用にならないでください。

5. 動力による牽引の禁止

アルミ製リヤカーは人力での牽引のみを使用対象としています。自転車・自動車・耕運機・フォークリフト・クレーン等の動力による牽引はしないでください。



【注意事項】

アルミ製リヤカーを使用した荷役・運搬を行う上で取扱いを誤った場合、アルミ製リヤカーの損傷や物損を招く恐れがありますので、次の項目を守ってご使用ください。

1. 路面の確認

凹凸や傾斜している路面でアルミ製リヤカーを使用すると、荷崩れや車輪の破損を招くことがありますので、作業を始める前に必ず路面の確認をしてください。

2. 荷物をはみださない

荷物をはみだして積載すると、荷物が落ちることがありますのでご注意ください。

3. トラック等による配達作業の禁止

マルチチャージャーに荷物を積載した状態で車上運搬すると、荷崩れによる荷物の破損やアルミ製リヤカーの破損を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

【お願い事項】

安全に長期間ご使用いただくために、次の事項を守ってください。

1. アルミ製リヤカーを使用するときは、事前に点検を必ず行ってください。

2. 移動作業は通常、押す作業とし、引く作業時は充分ご注意ください。

3. 停止するときは、完全に停止するまで手を離さないでください。

4. 錆や腐食を防止するためできるだけ水濡れを避け、屋内に保管してください。また、酸やアルカリに接触すると腐食するので、その場合は直ぐに水洗いしてください。

5. 組立・折畳時は説明書を読んで作業してください。

【製品仕様】

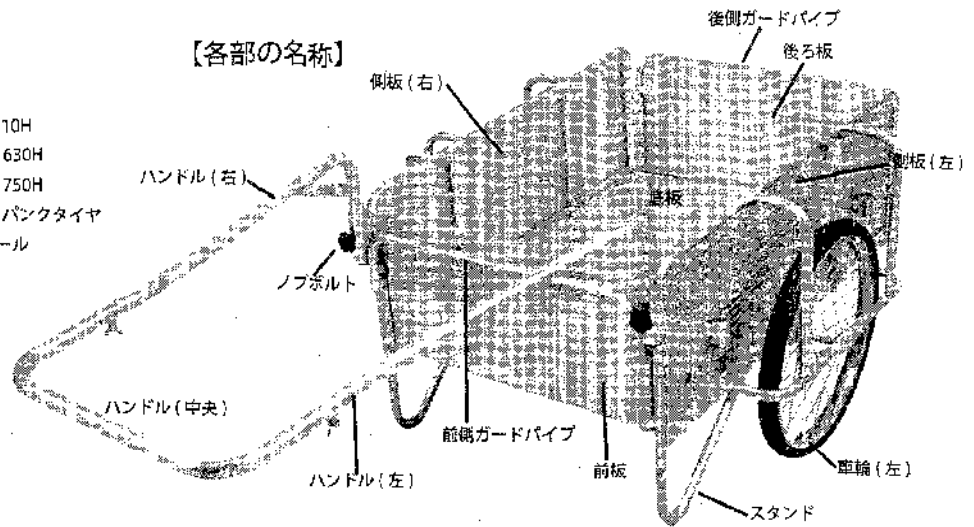
- 型番：PHC-130
- 寸法：荷台 600W x 900L x 310H
 使用時 870W x 1860L x 630H
 折畳時 370W x 1020L x 750H
- タイヤサイズ：20 インチノーパンクタイヤ
- ホイール：鉄製スポークホイール
- 自重：21kg
- 最大積載重量：130kg

【製品内容】

- PHC-130 本体
- 取扱説明書（本書）

【組立方法】

【各部の名称】



<p>①</p>	<p>②</p>	<p>③</p>
<p>折畳んだ状態では、前後板は底板のすきまに収納され、取付いていません。</p>	<p>前後板を取り出し、側板を左右に広げると、底板が水平になった写真のようになります。</p>	<p>前後のガードパイプを取り付けた後、前後板をガイドに沿って、上から差し込んでください。</p>
<p>④</p>	<p>⑤</p>	<p>⑥</p>
<p>ハンドルのノブボルトを緩め、左右のハンドルを前方に引き出します。</p>	<p>中央ハンドルを左右のハンドルに挿し込み蝶ボルトで固定します。</p>	<p>左右のハンドルを2ヶ所のノブボルトで固定します。 各部を点検し、ガタつきの無いことを確認後、ご使用ください。</p>

②③災害救助用 資機材セット



災害時の救助用資機材は、防災用倉庫の設置とあわせて、倉庫に整備します。



- | | |
|--------------|------------|
| (1) ボルトクリッパー | (7) 折畳ノコギリ |
| (2) シャベル | (8) 防塵ゴーグル |
| (3) 平バール | (9) 防塵マスク |
| (4) ハンマー | (10) ロープ |
| (5) ツルハシ | |
| (6) 万能オノ | |

(1) ボルトクリッパー

軟鉄線・銅線を切断する工具

(注意事項)

- 切断端材の飛散
(ゴーグル着用による防護)
- 電気が流れている物の切断は、出来ません。感電します。



(2) シャベル



(3) 平バール

てこの原理を利用し、ドアやシャッターなどをこじ開けたり、物を持ち上げたりする時に使用する工具



(4) ハンマー



(5) ツルハシ

先端部が取り外して保管しているため、使用時は、はめて使用する。障害物を壊し、取り除く時に使用。



(6) 万能おの

他の工具と同様に、倒壊家屋などの障害物を壊し、救出する際に使用。



(7) 折畳のこぎり

他の工具と同様に、倒壊家屋などの障害物を壊し、救出する際に使用。



(8) 防塵ゴーグル

ボルトクリッパーやノコギリなどの工具類を使用する際に、飛散防止として着用する。



(9)防塵マスク

のこぎり等を使用時に粉塵を吸い込み防止として使用。(2枚入り)



(10)ロープ

防災保管資機材の「救命ロープ」のページを参照。



②4救命ロープ



ロープは、傷ついてしまうと弱い部分から切断が始まり強度が弱くなります。命を守るロープですので、大切に扱ってください。

いろいろなロープ結び

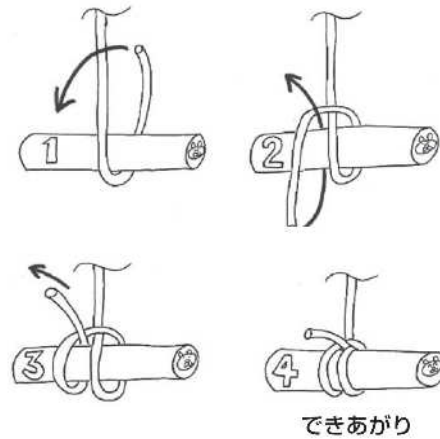
★ 本結び★

- ▶ 同じ太さのロープをつなぐときに使う結び方です。
- ▶ 結び目の引っ張り方を変えると簡単にほどくことができるので、救急隊の三角巾などでも使う結び方です。
- ▶ 最後にひもの端をもう一度縛ると、さらにほどけにくくなります。



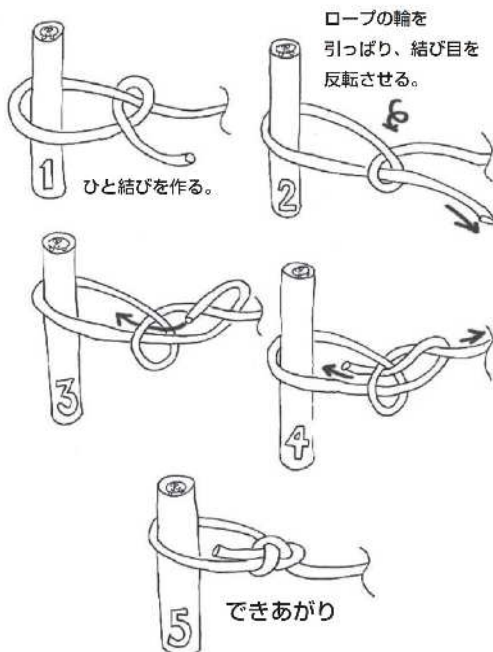
★ 巻き結び★

- ▶ ロープを固定するとき、すばやく結べる結び方です。
- ▶ また、物を持ち上げるときにも利用できます。
- ▶ 最後にひもの端をもう一度縛ると、さらにほどけにくくなります。



★ もやい結び★

- ▶ 輪を作る結び方。災害現場で自分の身を守る命綱などに使用される結び方です
- ▶ 木などの固定物にロープを結ぶときにも活用できます。
- ▶ 最後にひもの端をもう一度縛ると、さらにほどけにくくなります。



★ プルージック結び★

- ▶ 通常太いロープに細いロープを結びつけます。
- ▶ 細いロープをゆるめるときは自由に移動し、細いロープを張れば、結び目がしまって移動しなくなります。

